「ほほえみの寺清源寺で木喰まつり」

（11／18　木喰まつり&木喰フォーラム）

▲「木喰さんの願い」を披露する大城敦博さん（左・ヴァイパーヴァイオリン）、八木美樹子さん（中・ピアノ）、松村敬史さん（右・ギター）

11月18日、八木町の清源寺で「木喰まつり&木喰フォーラム」が開催されました。木喰像を生んだ木喰上人の生誕300年と八木町観光協会創立25周年を記念して、八木町観光協会が主催しました。

会場では、過去に振る舞われていた献立表を参考にした精進料理の賞味や八木町在住のピアニスト八木美樹子（やぎみきこ）さん作曲「木喰さんの願い」の披露、全国木喰研究会評議員の小島梯次（こじまていじ）先生による講演が行われました。訪れた約200人の来場者らは、上人晩年作のほほえみ仏に癒されました。

「ものづくりの村で秋を満喫する」

（10／27　京都新光悦村秋祭り）

10月27日、「京都新光悦村秋祭り」が井筒八ッ橋本舗で開催されました。会場では、スイーツバイキングやものづくり体験コーナーのほか、講演会も催されました。講演では、2021年度に予定されている文化庁の京都移転について、文化庁地域文化創生本部の松坂浩史（まつざかひろし）事務局長が説明。また、京都新光悦村に工場を建設中のミツフジ株式会社の三寺歩（みてらあゆむ）代表取締役社長が、今後の新工場で目指す取り組みについて講演されました。

▲自社製品と今後の取り組みを語る三寺社長

「人権尊重と世代間交流を楽しむ」

（12／1～5　第35回南丹人権フェスタやぎ）

▲手作りの子どもみこしで練り歩く園児ら

12月1日から5日まで、人権意識の向上と地域交流を目的に「第35回南丹人権フェスタやぎ」が行われました。

1日には八木東幼児学園の園児と地域の小学生による子どもみこしの巡行が行われ、地域には元気あふれる掛け声に包まれていました。2日には八木東部文化センターを会場に、太鼓演奏や踊りなど、地域で活動されている団体の活動発表があり、会場は大いに賑わいました。また、期間中は小中学生や地域の団体による作品や活動報告の展示が行われました。

「高畠純さんと一緒に絵本を楽しむ」

（11／25　ぼくの、わたしの、どうぶつえんづくり）

平成30年は、中央図書館と文化博物館が開館20周年となり、多数の記念事業を展開しています。11月25日、絵本作家の高畠純（たかばたけじゅん）さんを講師に、ワークショップ「ぼくの、わたしの、どうぶつえんづくり」を文化博物館で開催しました。

約40人の親子らが参加し、高畠さんと一緒に絵の楽しさを感じながら、色とりどりの動物を画用紙いっぱいに描き、オリジナルの動物園を作ることができました。また、絵本の読み聞かせもあり、ユーモアあふれる絵本の世界に引き込まれていました。

▲参加者にアドバイスする高畠さん